

北相木 議会だより

2019年8月 発行 北相木村議会

発行/北相木村議会 〒384-1201 長野県南佐久郡北相木村2744 TEL 0267-77-2111
発行人/高見澤一好 編集/議会編集委員会 印刷/臼田活版株式会社

No. 20



小学校音楽会

目次

- 村民の声 2
- 令和元年 第2回定例会 一般質問 2~6
- 議会活動報告 7~8

村民の皆様、平素より大変お世話になっております。北相木の短い夏が過ぎましたが、まだまだ暑い日が続いており、熱中症になる危険度も依然として高い状況にあります。くれぐれもお体にご自愛いただきたいと思います。さて、これから10月にかけて天候不順による長雨等の影響で災害が発生しやすい時期を迎えます。国では、より確実に避難行動へ移せるように本年度から大雨の際に防災情報をも5段階のレベルに分けて発表することとなりました。これによって、段階ごとどのような避難が必要なのか情報が流れるわけですが、北相木村の立地条件等で必ずその情報のおりの行動に移せないケースも想定されます。よって、日ごろからの避難方法などを地域やご近所で話し合っておくことが重要に思われます。

どうか大切な命や財産を守るため、色々なご協力を頂きますとともにご意見もお聞かせください。

議長 高見澤一好





かつてカゲロウやホタルが飛び交った村

井出 萬盛

50年経った北相木村は随分と変わりました。主要産業の養蚕が無くなり、野菜や花の栽培が主流になっています。お米は殆ど作っていません。通り岩の田が、米作り日本一になったことも忘れられてしまったでしょう。

ここでは、私の懐かしい思い出を通して、北相木村から消えかけている動物についての話題を提供します。

マイムシ（カゲロウ）は川面に浮かび上がったサナギからふ化します。白い虫で幼虫は砂の中にいるザザムシです。一匹とればハヤが一匹釣れました。

夢中になって追いかけた虫です。夕方になると無数のマイムシが御門川からわき上がり、県道まで上がってきたものです。いつの日から見かけなくなっていました。

ホタルは御門川でたくさん見かけました。無数のホ



マイムシ（カゲロウ）

一度失った自然の状態はなかなか元に戻らないと言われています。これらの動植物が密かに生き延びていることを願っています。なお、生息していることをご存知の方は是非教えてください。

タルが光を点滅させる様子は、まるでLEDイルミネーションのように見えました。そして、北相木村の人達は、ホタルを長ネギの中に入れ、その淡い光を楽しんでいました。ホタルが飛び交う時期は何時だったんだろう？

50年前の北相木村にはマイムシ（カゲロウ）やホタル、ニガツパヤが生息していました。しかし、今では殆ど見ることができません。

そういえば、渡り鳥のゴウジツクイ（ムクドリ）やセツツも来なくなりました。草木ではシラクチ（さるなし）、赤百合、岩百合、桔梗など、少なくなりました。紫シメジやモトアシなどのキノコも最近食べていません。

議会定例会報告

令和元年 第2回定例会 6月4日に招集された議会は、6月12日までの9日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号	北相木村税条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	北相木村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	北相木村森林環境譲与税基金条例の制定について
議案第4号	平成31年度北相木村一般会計補正予算（第1号）について
議案第5号	工事請負契約の締結について（令和元年度 北相木村西丸村宮住宅建設工事）
発議第1号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書について
発議第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書について
発議第3号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
発議第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について

一般質問

令和元年六月十二日

議会定例会

中沢 健一 議員



買い物弱者対策について 質問

この村の高齢者の方々に聞きすると、通院、買い物等においてとにかく車が欠かせないというお声をよく耳にすることがあります。しかし高齢になり免許証返納の不安もうかがえます。通院については公共交通機関で村の診療所、小海分院等カバーできているように思いますが、問題は日々の買い物などをかして、より楽に、より安全に行う必要があると考えます。
小海町のバスダイヤに小

海駅で村のバスダイヤに合いたいような時間をもとに小海町担当者との協議を行い、村の70歳以上の無料券を活用し、村の高齢者の方たちにも広報をし、利用を促したらいかがかと思ひまして質問いたします。

総務企画課長

対象にしているのが個人商店、あくまで大型とは言え個人商店であるということ、さらに村外の個人商店であるということを含めますと、なかなか他町村のバスをしかも無料化で支援するという施策は難しいのではないかと思っております。

質問

特に生鮮食品の入手が難しく、やはり食生活は健康に直結する問題であります。この村で生活するには車が必需品だと思いますが、しかし手放すときがきます。そのようなときの助になればと思ひ敢えて提案したわけでありますが、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

総務企画課長

現実としまして、小海町

質問

住んで良かった村にするには、皆で知恵を出し合わなければいけない時代になっていると思ひます。

これからこの村で段々買物物が不便になったりすると、ゆくゆくは買い物代行サービスとかそういうことも必要になってくると思ひます。例えば直売所、行政で作ったけれども正直言って品物が少ない。直売所を少し拡充して何か方法を考へるとか、そういう対策なんかもいろいろ必要になってくると思ひますが、いかがでしょうか。

総務企画課長

ただ人によってはそこだけじゃなくて、汽車賃も補助しろよとか、そういう不公平感も考へられないこともないので、ちょっとその点は難しいのかなと感じます。住民福祉課長がいろいろな面で他町村との連携も含め

の中で、今後どうしていけば良いのかということは常に考へているところでございます。日々検討は庁内ではしているつもりですが、なかなか皆さんにご納得いただけるような回答までできていないというのが現状でございます。

質問

悲惨な事故を避ける意味でもなんとか皆で知恵を絞って、買い物弱者、いろいろな意味で介護していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

木次 茂 議員



村の人口増加対策について 質問

現在北相木村の人口は750人余りで、県下77市町村の中で下から3番目に少ない状況です。
これから村を支えていく

後継者や若者の育成、また移住される方やUターンの促進などに力を注いでいかなければ、村の存続すら危ぶまれる状況かと思ひます。

村長

この6年間の任期中に村の人口増加のためにどのような施策をとってこられましたか、またその成果として手応えのあったものはございますか。

まず第1にやはり若い人に居てもらわなければいけない。荒廃農地の問題も出ますけれども、そういった小学校なり子どもさんを育てる環境がしっかりしてきて、始めてIターンといった農業後継者なりが残れるそういう体制ができるのではないかと、そういったことでもまず村づくりの基、土台は子育てだということ頑張っているところがございます。
新規就農者の問題も徐々

に来てはいただいておりますが、その人たちが果たして成功してもらえるのかどうかと、非常に危機感が正直あるところでございます。

それから林業の問題。それも林業、後継者とは言わなくても林業に携わる人、職場としてのそれもみえてきて何人か森林組合等林業関係に携わってくださる若い人たちも出てまいりました。

これから後期の地方創生次期後期計画に着手いたします。幸い関東圏からは八千穂高原までインターが出来たということで、佐久市の職場と考えても15分の短縮ができる。そういったことも踏まえてのこれからの村づくりにあたっていき、地方創生の中でももう少し具体化したら北相木村に興味を示してくれる事業体も出てまいりました。

質問

山村留学や親子山村留学の事業は、はなまる学習会の協力や、関係者各位の方々のご理解とご支援があった成果だと思えます。小

学校の児童数が61人で存続維持できていることにつきましても、皆様のご協力の賜かと思っております。

しかし5年、10年先のことを考えたときに、本当に村を支えてくれる若者の人口増加の解決策には根本的にはなっていないと思われまます。2018年度の長野県内の人口の増減は2年連続で県内への転入者が、転出者を上回っているようです。これは地域ブランド化が確立されて、長野県内の77市町村の中の30の自治体が人口増加を果たしています。北相木村との地域格差はあるかと思いますが、子育ての施策の充実により、村への転入者が出生者数の増加につながる、そういった村の施策を積極的に今取り入れてもらって、良い点、学ぶ点、学ぶべきこと、あるいは改善すべき点いろいろあるかと思えますが、そういったことを検討していただくことはできないでしょうか。

村長

年内に地方創生後期を完成

させますので、また議員の皆さんからも入っていただきますが、その中でもっときめ細かな具体策を協議していきたいと思えますが、よろしく願います。

質問

縁あって全国の中から北相木村を選んで移住された方が子育てしながら満足して定住してくださることが、村としての願いだと思っておりますが、移住者のその後のケアも私は大切と考えていますが、いかがでしょうか。

村長

フォローで済む問題と、いろいろのそれぞれ個人のニーズがありますので、ライフスタイルというのは我々の頃と随分違ってきたと感じていると思えます。人口減ということは残念ながらこれからも鈍化はするとは思いますが、やはり続くのではないかと思っております。

山口 吉彦 議員



質問 荒廃農地の再生について

荒廃農地の再生あるいは遊休農地の再利用という問題は、人口の減少や高齢化さらには農地の立地条件の悪さあるいは採算性など、様々な要因によって耕作されなくなつて荒れた農地が村内にもたくさん見受けられるというのが現状でございます。

荒廃農地の再生と未然防止の両面で進めていく、村において国の事業の活用など具体的な計画をお持ちであれば、この点もお聞かせをいただきたいと思います。

県下各地では再生した農地を利用して様々な取り組みをされて、新たな野菜の栽培や、できた農産物を利用した加工品の生産なども行われていたり、珍しい野

菜の試験栽培も始めているところがあるわけですが、積極的なチャレンジであると思えます。これに対して村ではどのような取り組みがあるでしょうか。

村長

荒廃農地が増えているのは皆さんご存知の通りで、活用できるところがなかなか難しいところがあります。今まで荒廃農地をいかに少なくするかということで、ご承知のように水路の整備、農地整備ではなくて水路をまず作って、その周辺は花作りにできるかというようなことで、いかに荒廃を少しでも減らせるかというようになことに具体的にはここ数年取り組んできたところがございます。

経済建設課長

荒廃農地の状況については毎年遊休農地に関する措置として、農業委員会と村合同で農地利用状況調査に基づき遊休農地等を現地確認し、再生可能と再生困難農地に棲み分け仕分けを行なっています。

現在担い手農家が認定の

農業者11名、認定新規就農者5名、今後育成すべき農業者4名の計20名いますので、事業導入について今後協議検討していきたいと思えます。いずれにしても令和2年に実施計画を策定し、事業別に国庫、県単等の補助事業の導入申請手続きが始まることになっていきます。

また農業委員会では山椒の栽培研究も進んでいるところでございます。今後も当村で生産可能な新たな農産物について、関係機関、農協、農業委員会等と協議し検討、研究を重ねていきたいと思えますし、優良農地確保と荒廃農地解消に向け事業等も検討していきたいと思えます。

農地の貸し借り等の問い合わせについては農業委員

会事務局へお気軽に相談させていただきます。

質問

予算説明資料の経済建設課の項目を見ますと、歳入予算見積りに遊休農地整備事業使用料というものが謳ってありまして、25万6、600円という金額が計上されております。と同時に2万750㎡の面積が使用料の対象になっているようにございますが、これはいったいどういうものなのか、さらに前年度と同額の見積りに変化がないということなのかお聞きしたい。

経済建設課長

使用料のことについては先程申された通り、新規就農者に荒廃農地整備村単事業の貸付の使用料分です。一応5年間の使用料をいただくという形になっておりまして、その30年度分が載っております。

質問

この気候を活かした新たな野菜の生産をしていくということを考えるわけ

ですが、その場合にやはり試験栽培ということも必要であらうと思えます。他の町村では例えば紫色の人参を試験栽培するとか、そういうことを行っているようにございますが、そういった計画はないのかなということをお聞きしたいと思っております。

経済建設課長

生産したものを加工すればそこにまた雇用も生まれるというようなことで、非常に大切なことだと把握はしております。野菜の試験栽培等についても、今後農業委員会等の専門の中で協議をさせていただき、前向きに検討はしていきたいと思えます。

質問

私も過去に3期足かけ10年農業委員をした経験上、いろいろ取り組んでみましたが、その中で一つ問題になることは、農業委員会の担当者が変わると、担当職員の意味が違ふものですからどうしても尻つぼみになってしまったりということがございます。

菊池 敏廣 議員



それから村から補助金をいただいてそういうものに取り組んだときに、結果を早く求めすぎるといいますか、3年くらいで結果が出るものだと思うので、いつの間にか補助金が削減をされてしまうということで、せっかく目が出たものがそのことがひまわり等のときに見受けられたように私は感じておりますので、そういう点についても今後検討をしていただきたいと思います。

空き家等の対策について 質問

北相木村に誰も住んでいない空き家を持つている。空き家を管理しきれないので処分したい。今後使うかもしれないので貸したい。

村長

使う予定がないがどうしたらいいか、このようなことに困っている方がいると思えます。適正に管理されていない空き家は急速に劣化して資産価値も下がってきます。実態の把握はどう捉えていますでしょうか。また村では空き家対策をどのように進めていく考え

総務企画課長

村の空き家管理は、全国的な大きな問題となっております。

質問

27年の3月の時点で、水道料が使われていない、水道は施設としては持っているが水道は使っていない、動いていないというお宅がやはり空き家なのかなという感覚の中で、先月6月の水道料の関係を調べましたところ45軒ほど村内で使っていない方がいらっしゃるということなんです。全戸の12%くらいに当たるのが現状です。

危険な空き家等も数軒あると思えます。対策はどう

なっていますでしょうか。周辺の住宅環境を悪化させ、また老朽化により倒壊の恐れのあるものもあると思います。適切に管理するように所有者にどのように対処していますか。

総務企画課長

ご質問があったのは特定空き家のことだと思います。個人的に考える中では数軒村内にもあろうかなあと感じておりますが、実際問題まだ手がついていないというのが確かなところでございます。

なかなか特定空き家にするのは難しいような現状もありますので、いままじ戸内で詰めながら対策を検討していきたいと思っております。

質問

北相木村空き家対策協議会の活動内容はどのようになっていますでしょうか。また会長以下、何名の構成人員になっていますでしょうか。教えてください。

もう1点、北相木村空き家等検討委員会の活動内容はどのようになっていますか。また委員長以下どのよ

うな人数で構成されているのか教えてください。

総務企画課長

現状ではまだそこまでできておりません。だから実績では全然ないし、委員もまだ選出されてはいません。

質問

空き家等は個人対処があまり予想されず、今後増加が予想されます。空き家の活用除去に国の補助制度もありますが、村としても空き家処分の個人助成等対策計画等をつくって進めていただきたいと思っております。

総務企画課長

空き家の解体について、補助を出した方がいいのではないかとこのお話もいただきましたが、都会であればその空き家を壊しても、すぐ次の方が入ってこれるといふことで、有効活用につながると思うのです。でも、壊したらそのまま更地になったままだといふ可能性の方が大きいのと、空き家を持つている方は今現在、他町村の方といふことで、その辺も含めて検討していきたいと思つて

おります。

峰尾 勝己 議員



道路の安全について

質問

かねてより検討課題に挙げられている案件ですが、久保地区古宮で道路が切れちゃい、道幅も急に狭くなって歩行者は道路の端を歩かなければなりません。

歩道がなくともしも車が飛び込んできたならば、歩行者を守るものがあります。特にこの箇所は小学生の朝と夕方の通学路にもなっていますので、歩行者の安全を担保しなければなりません。早急に道路を拡張し、歩道とガードレールの中の安全確保は必要だと思つます。

そこで古宮の問題は何年も前から検討課題とされていますが、現在の進行状況

とこれからの推移をお伺いします。

村長

この問題については大変危険な状況でございます。建設事務所の皆さんと重点問題としてお願いするということ、実際には地主さんと具体的に動き出していることもございます。

質問

古宮の問題は4年前2015年の6月の定例会において、5番議員さんが質問に立っております。しかし現在も状況は何一つ変わっていません。

村長

個人的な問題等々にも関係してきますので細かい点は割愛させていただきますけれども、結論は今年度に出したいと考えておりますので、どうかご協力をお願いいたします。

質問

早急な対策が取れなくなつた場合は新たな安全対策として例えば道路に色をつけるとか、徐行を促す方法を取るとか、他に方法は変えられますけれども、そち

らの方は考えたことはございますか。

村長

最悪の場合はそういうことになろうかと思つますけれども、その前にどうにか改良したいということに進んでおりますので、どうかよろしく願ひします。

質問

この問題は長きに渡つていろいろ検討させていたただいたことです。事故の起こるであろう箇所や事故のあった場所へは早急な改善が必要だと思つますので、村民の安全安心を村として守つていくことは急務であることをご確認させていただきます。



県道の様子

議会活動報告

カラマツ材の未来

木次 茂

5月10日に、村長、山林委員及び山林委員事務局と共に、全国緑化信州フェアの視察をしてみました。

その中の「信州リビングガーデン」というコーナーに行き、長野県産の木材を利用したモデルハウスを視察してみました。

ここでは、県内の工務店など3社が独自に設計考案した



北相木村産材は真っ赤で細かな年輪が特徴



用途が広く使われる、まっすぐ長い16mの特注杭材

長年建築に携わってきた私のカラマツ材の印象は、ねじれやヤニが多く、扱いにくいといった概念でしたが、担当者説明では北相木村のカラマツは林齢51年生以上の林分が村全体の70%を占め、その様な長く年月が経過したカラマツはねじれも少なく落ち着いており、色合いも赤身部分が多い上質な素材だとの事でした。また、樹高が高いの

建物が建築されていて、その中の1棟が、北相木村産のカラマツを使用して建築されていました。担当したのは長野市にある炭平コーポレーションという会社で、良質な北相木村産のカラマツには以前から注目していただき、この度のイベントには、炭平コーポレーション様から声をかけていただきました。材は北相木村の菅の沢、一の菅、小谷沢から搬出された林齢60〜79年生のカラマツで、外壁や構造材、床などに使われているとの事でした。



モデルハウス内装の様子



梁・桁・天井にも村産材を使用

に包まれ、いきなり目に飛び込んできたのは大きな登り梁と棟木です。ねじれもなく真っ直ぐで美しく納まっている様子に感動しました。

で長材での使用が可能な利点があると聞き、建材としての価値も見直すことができました。

この様な機会によって利点をPRしていくことが重要なことだと思えますし、北相木村のカラマツ材がブランド化に向けて取り組みもうとするこの様なプロジェクトに、議会としても応援していきたいと思えます。



町村議会初当選議員研修会に参加して

山口 吉彦

5月24日、安曇野市サンモリッツにおいて、長野県町村議連会主催による初当選議員研修会が開催され、県下各地より多数の議員が出席し、当議会からも3名と議会事務局が参加してまいりました。要点と思われる事項について報告させていただきます。

「議員とは住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて住民の個別意志を総合して町村としての意志を形成する任務を有する。」とされています。村には8人の議員がいますが、この8人が代表者として、議会活動をを通じて、住民の個々の意志を聞き、総合的な判断をした上で村としての動きを決める役割を持っているということでしょうか。

「住民の代表者」ということが大切なことだそうです。そして、代表者は往々にして代理人と混同されやすいというのが難しい点だともいわれています。代表というのはあ



講演者 明治大学政治経済学部地域行政学科長 教授 牛山 久仁彦 氏

長野県町村議会 議員研修参加

令和元年7月29日、下諏訪総合文化センターにおいて、長野県内の町村議会議員が一堂に会し議員研修が行われ、北相木村議会も全員参加してまいりました。

研修内容の第一部は「町村議員のあり方と定数・報酬をめぐる論点」と題した講演を聞き、第2部は条例の読み方、政策条例の考え方について学んできました。今全国的に議員のなり手不足が問題となっております。その要因の一つに議員報酬のことも挙げ

くまで自分の考えで、自分を選んでくれた人々の意思や要求や利益を判断してゆくことだそうです。そして「代表者である以上は選挙民の要求が無理だと思えばそれをそのまま代弁したり代理するようなことがあってはいけません。」ともいわれ、議員の行動は代表者として自主的にやったものとみなされるとなると、それなりに責任ある判断ができる様知識を積み上げ、他の人の意見を聞くなど学習しなければならぬと思いつつ、奈良県の春日大社の宮司の方が

講演者 滋賀大学客員研究員 提中 富和 氏



「勉強」という言葉は好きな言葉ではないが、自治体職員はもとよりの様な立場であっても必要なことだと思えます。一年生議員という言葉通り何も知らないことが多いが、徐々に議員として必要な勉強をと思つていきます。

高見澤 一好氏 長野県町村議会 議長会役員に就任。

令和元年6月3日、長野県自治会会館において長野県町村議会議長会臨時総会が開催されました。これは今年、統一地方選挙があったことから役員改選が行われたものです。東信からは、長年、各地域で重責を担ってきた川上村議会渡邊 光 議長（理事）と、北相木村議会 高見澤 一好議長（監事）が選任され、全会一致で決定されました。

この度、県役員として選出されました。長野県町村議会の運営に携わることとなり、重責であります。職務完遂に務めたいと思っております。

高見澤 一好

編集後記

「夢のお話」

先日、尊敬する先輩から「大いに夢を語り合いましょう」と背中を押された。ここでいう夢とは、寝ているときにみる夢ではなく、これからの人生の在り方やわが村の将来についての夢物語をイメージすることだと悟った。夢とは「目標」をもつこと。そして「目標」に向かって歩き始めることだ。「ドリームカムトゥルー」：思いを強くもてば夢は叶うし実現もする。

先輩。今度は大いに夢を語りあいましょうね。さつと、今晩は七億円が当たる夢でもみるとするか（笑）

K・M